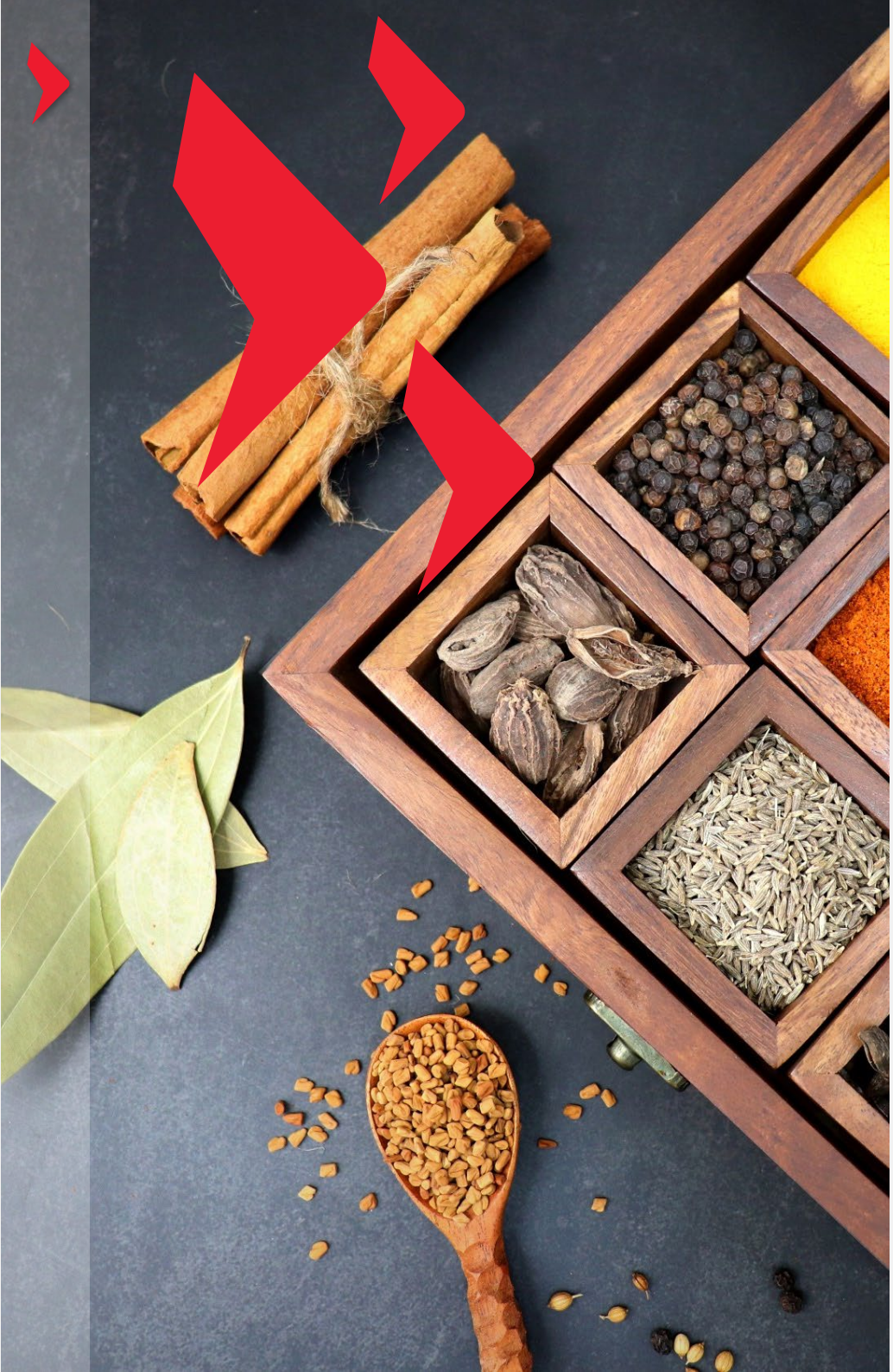


情報提供資料

eastspring investments

A Prudential plc (UK) company

イーストスプリング
インド投資マンスリー

2026年8月号

インド投資マンスリー
動画配信中！

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号
加入協会 一般社団法人資産運用業協会

英国プルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるプルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

260805(06)

高市首相のインド訪問で日印協力が加速

- 高市首相は2026年7月にインドを訪問し、モディ首相との首脳会談や日印経済フォーラムに出席しました。今回の訪問では、経済安全保障分野において半導体・重要鉱物・ICT・クリーンエネルギー・医薬品を優先分野とする協力強化が確認されたほか、エネルギー安全保障やAI分野での連携強化なども打ち出されました。
- 日印経済フォーラムには約200社の日本企業が参加し、企業間や官民連携による129件の協力文書が発表されたほか、約2兆円規模の事業機会が創出されました。こうした動きはインドでも大きな関心を集めており、日本企業による投資拡大や成長産業分野での連携強化への期待が高まっています。
- 近年、日本企業は中国依存の見直しやサプライチェーンの多様化を進める中、成長市場であるインドへの投資を拡大しています。日本とインドの協力関係は、インフラ・製造業に加え、先端産業分野や経済安全保障へと広がりを見せています。こうした投資・技術協力の拡大は、インドの産業高度化や中長期的な成長を支える取り組みとして注目されます。

【日印経済フォーラムの主な成果】

投資・事業機会	協力文書	参加企業
約2兆円	129件	約200社

【経済安全保障協力の優先5分野】

半導体
供給網強化・技術協力

重要鉱物
安定調達体制の構築

ICT
デジタル・AI分野で協力

クリーンエネルギー
脱炭素化・エネルギー安全保障

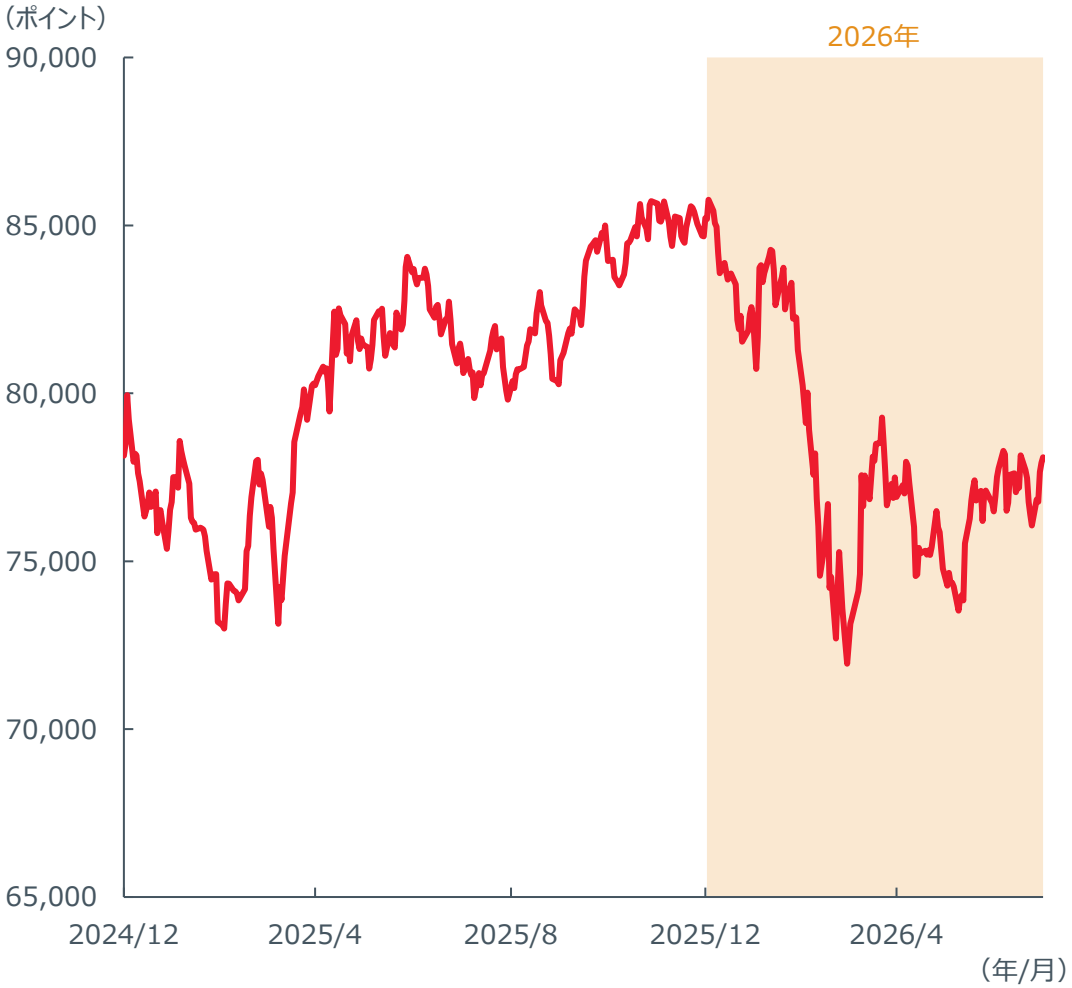
医薬品
安定供給体制の構築

出所：外務省資料（https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/101055514.pdf）、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

株式：AI関連株からの資金シフトや堅調な企業業績を背景に上昇

SENSEX指数の推移（2024年12月末～2026年7月末、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。

2026年7月の振り返り

7月のインド株式市場（SENSEX指数）は、月間で2.1%上昇しました。中型株および小型株もそれぞれ2.1%、0.5%上昇しました。

当月は、韓国や台湾などのAI関連銘柄を中心に一部アジア市場が調整する中、国内投資家の継続的な買い越しに加えて外国投資家が5ヵ月ぶりに買い越しに転じるなど、インド株式市場への資金流入がみられました。また、インド経済の底堅さに加え、4-6月期決算発表が始まり市場予想を上回る企業がみられたことも投資家心理を下支えしました。

セクター別では、情報技術や一般消費財・サービスなどが上昇する一方、資本財・サービスや公益事業などは下落しました。

規模別指数の期間別騰落率（2026年7月末時点）

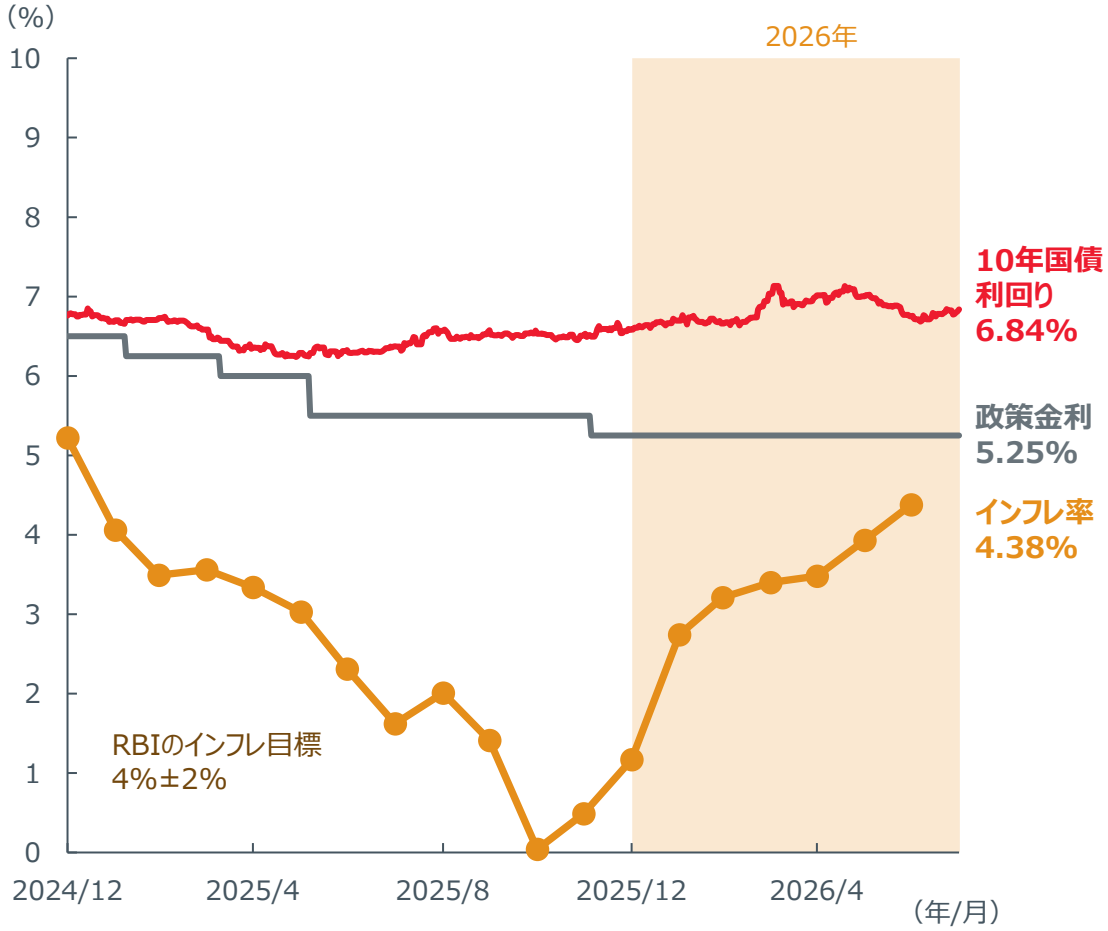
	1ヵ月間	3ヵ月間	6ヵ月間
大型株（SENSEX指数）	**2.1%**	**1.5%**	**-5.1%**
中型株（BSE中型株指数）	2.1%	5.1%	7.4%
小型株（BSE小型株指数）	0.5%	8.5%	16.2%

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

債券：10年国債利回り、インフレ率ともに上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

（2024年12月末～2026年7月末、日次）



2026年7月の振り返り

7月のインド10年国債利回りは上昇し、月末時点で6.84%となりました。

米連邦公開市場委員会（FOMC）では政策金利が据え置かれたものの、米国債利回りが上昇したことに加え、中東情勢を巡る不透明感を背景に原油価格が上昇したことから、インド債券市場でも金利上昇圧力が強まりました。また、保険会社や年金基金からの需要が弱まったことも、超長期債を中心に利回りの上昇要因となりました。一方、国内銀行システムの余剰流動性は改善が続き、外国投資家によるインド債券市場への資金流入もみられました。

7月13日に公表された6月のインフレ率は、前年同月比＋4.38%と、5月の同＋3.93%から加速しました。RBIのインフレ目標中央値である4%を1年5ヵ月ぶりに上回りました。食品価格や燃料価格の上昇が主な押し上げ要因となりました。

債券利回りの変化幅

	2026年7月末	2026年6月末	変化幅
10年国債利回り	**6.84%**	**6.75%**	**0.09%**
5年国債利回り	6.45%	6.42%	0.03%

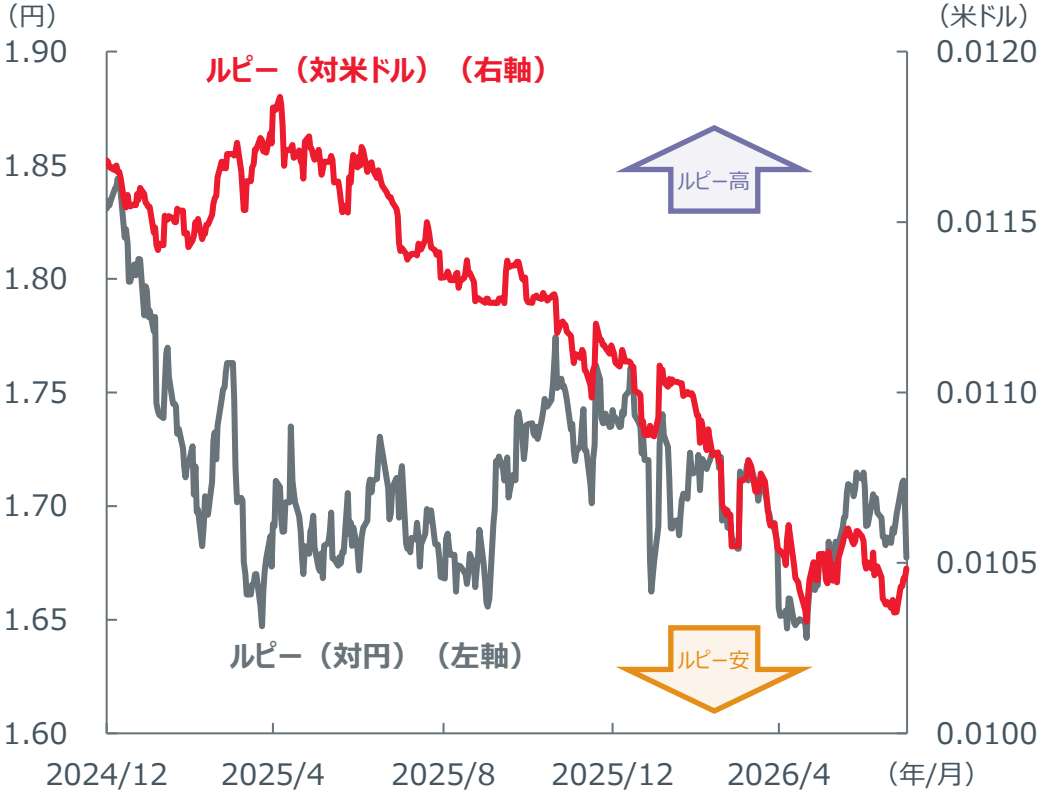
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*レポ金利。**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。2024年12月までは旧基準（2012＝100）、2025年は新基準（2024＝100）に基づく参考系列、2026年1月以降は新基準による正式系列を使用。2026年6月まで。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

為替：ルピーは対米ドル、対円ともに下落

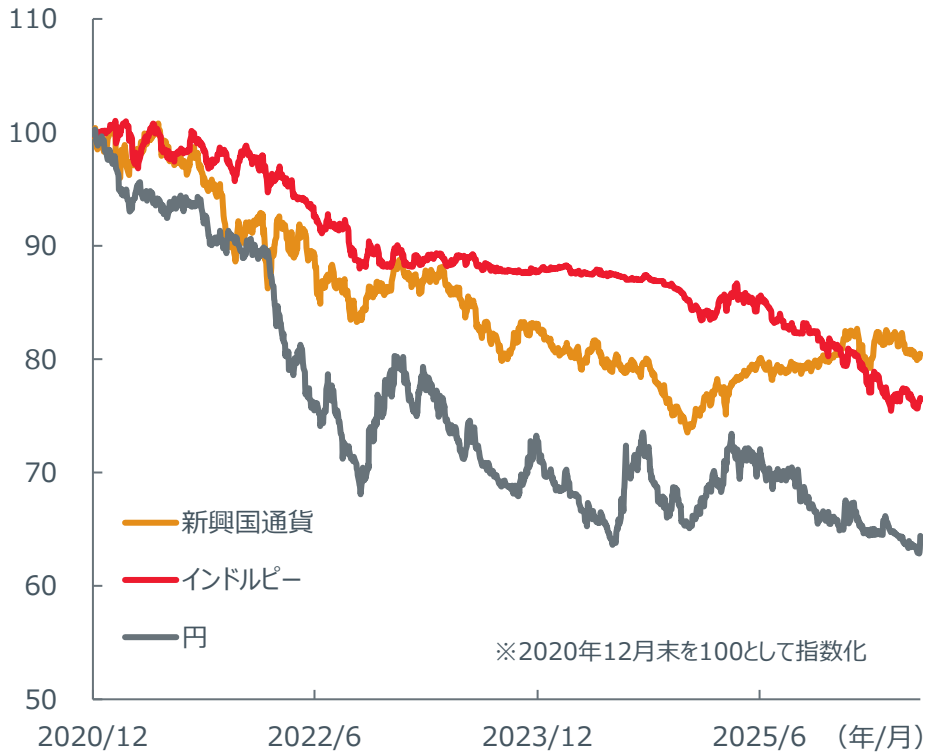
- 7月のルピーは、対米ドルで0.8%、対円で2.2%下落しました。
- ルピーは対米ドルで最安値圏での推移が続いています。一方、新興国通貨と比べて変動幅が小さく、中長期で見ると相対的に安定した動きとなっています。

ルピー（対米ドル、対円）の推移
（2024年12月末～2026年7月末、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

新興国通貨*、ルピー、円（対米ドル）の推移
（2020年12月末～2026年7月末、日次）

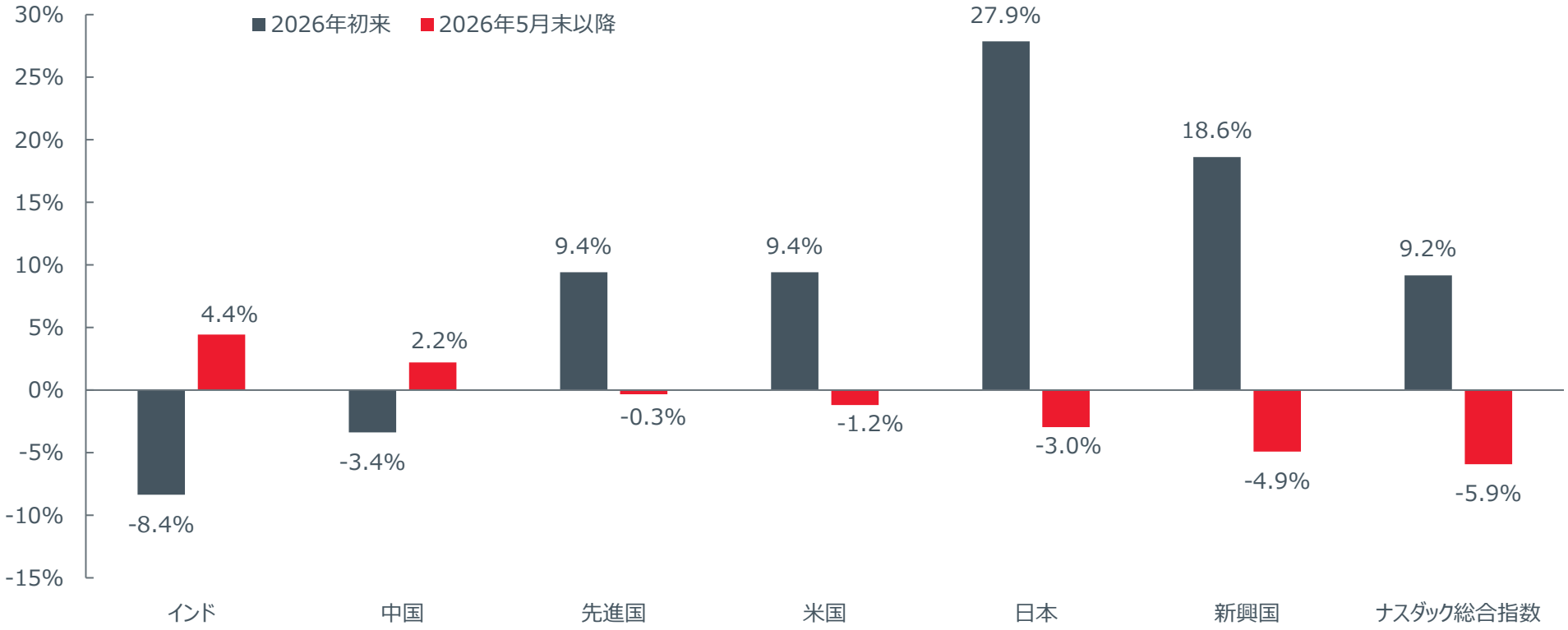


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*新興国通貨：JPモルガン・エマージング・マーケット・カレンシー・インデックス。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド株は2026年6月・7月にかけて好調に推移

主な株価指数の騰落率
（2026年初来：2025年12月末～2026年7月末、2026年5月末以降：2026年5月末～2026年7月末）

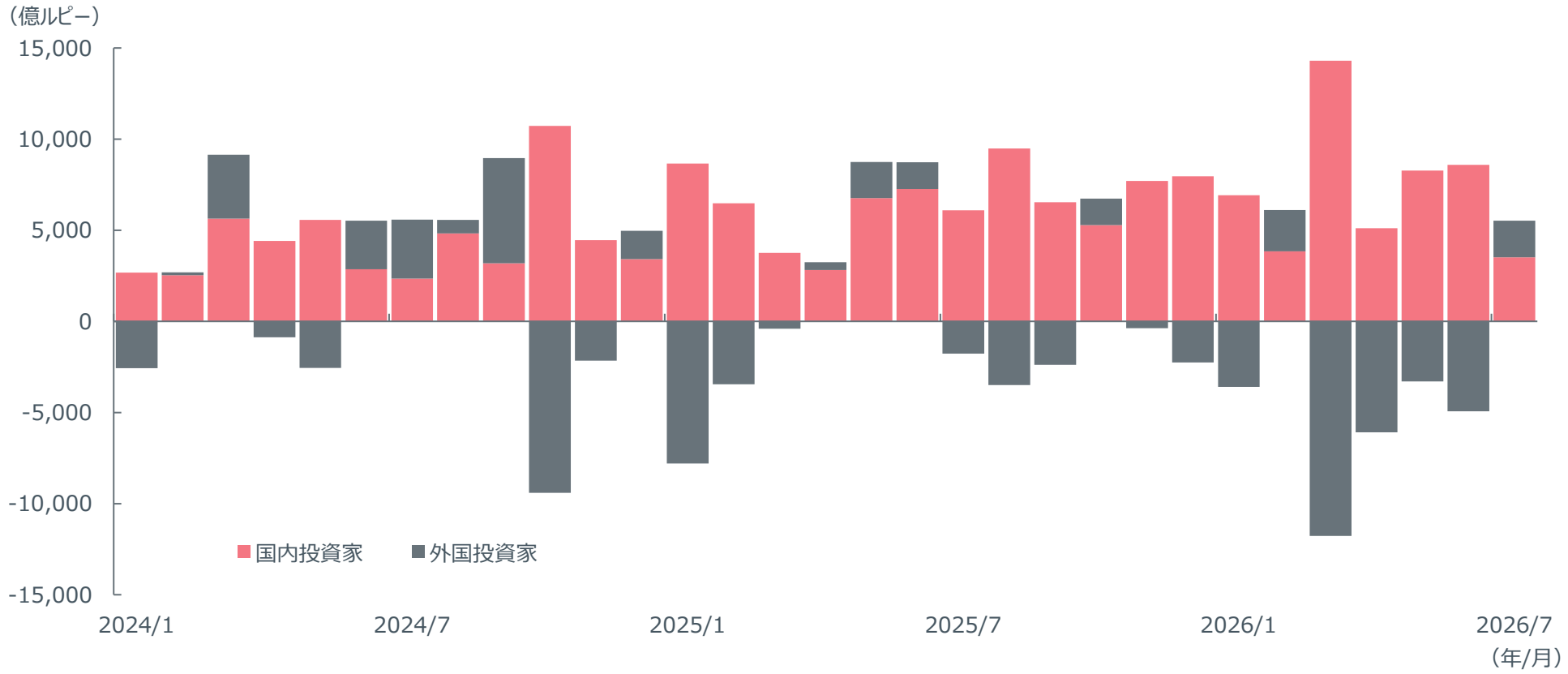


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
インド：SENSEX指数、中国：ハンセン中国企業株指数（H株）、先進国：MSCIワールド指数、米国：S&P500種指数、日本：日経平均株価、新興国：MSCIエマージング・マーケッツ指数。
全てプライス・リターン、現地通貨ベース（先進国株、新興国株は米ドルベース）。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

外国投資家は2026年7月に買い越しに転じる

国内投資家、外国投資家のインド株式市場への資金純流出入
（2024年1月～2026年7月、月次）



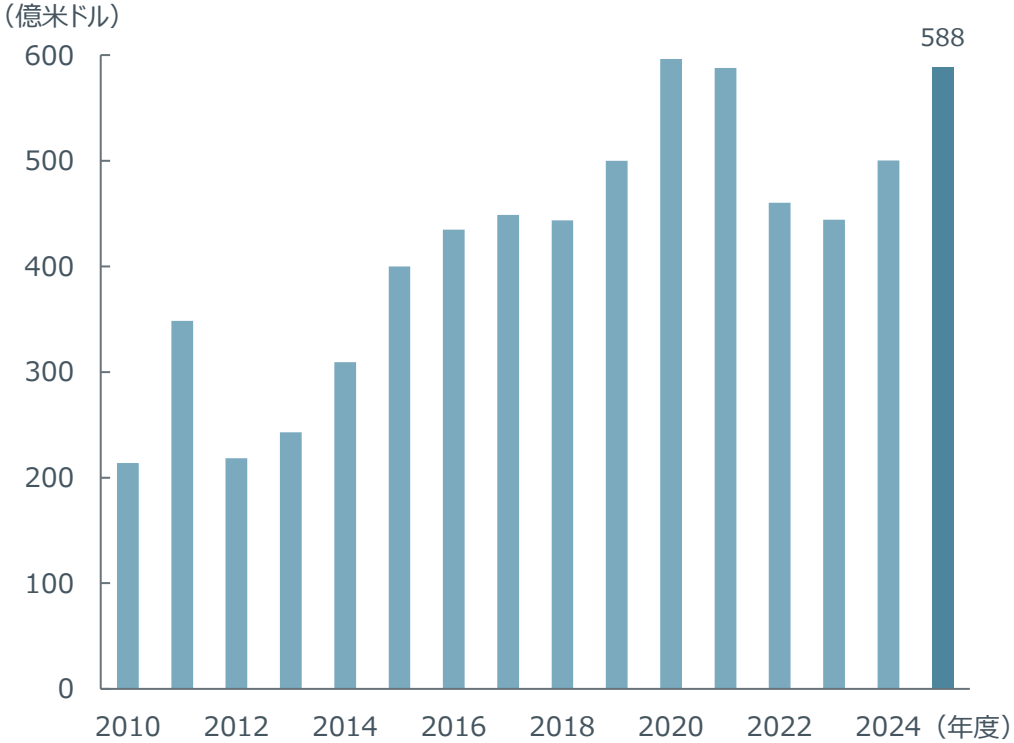
出所：BSE（ボンベイ証券取引所）、NSDL（国立証券保管機関）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

直接投資（株式資本）の拡大が示すインドの中長期的な投資の魅力

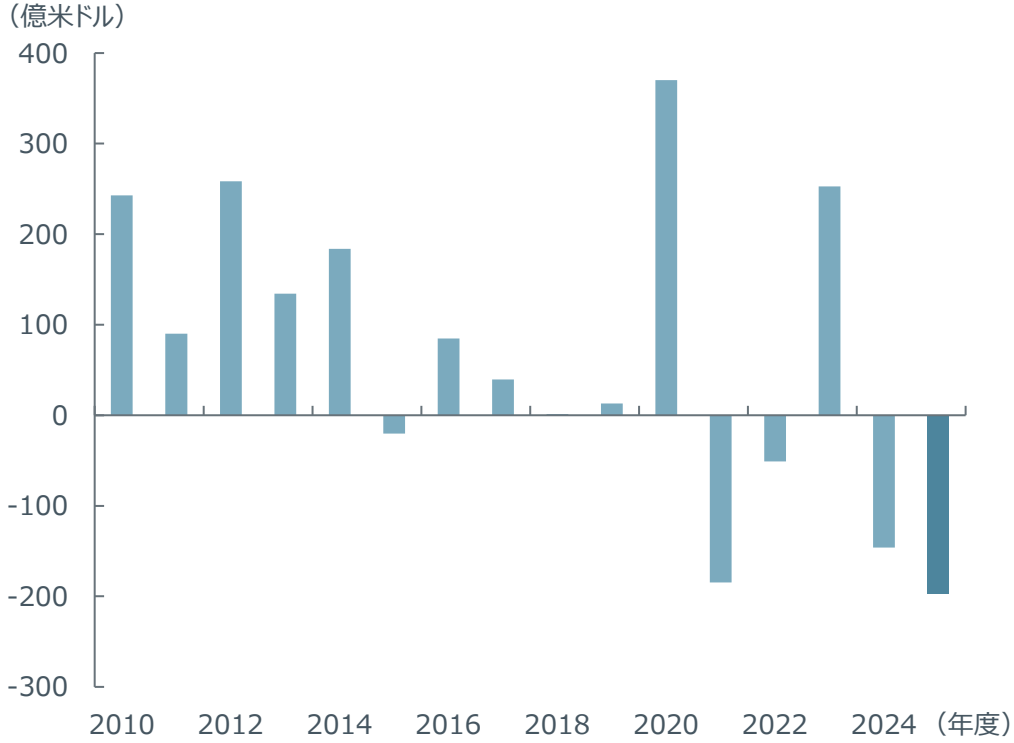
■ インドの2025年度の対内直接投資（FDI）株式資本流入額は、前年比18%増の588億米ドルとなりました。外国投資家による証券市場を通じた短期資金が流出超となる一方、直接投資はコンピュータ・ソフトウェア／ハードウェアやサービス分野を中心に流入しており、自動車や医薬品などの製造関連分野にも資金流入がみられます。デジタル経済の成長や製造業強化を背景に、インドへの中長期的な投資需要は底堅く推移しています。

インドへの対内直接投資（FDI）株式資本流入額
（2010年度～2025年度）



出所：インド商工省のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※株式資本流入額は非法人組織向け出資を除く。2025年度は暫定値。
※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば2025年度は2025年4月～2026年3月。

外国投資家のインド株式市場への資金純流出入
（2010年度～2025年度）



出所：NSDL（国立証券保管機関）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば2025年度は2025年4月～2026年3月。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

2012年対比で、外貨準備高は増加、インフレは安定的に推移

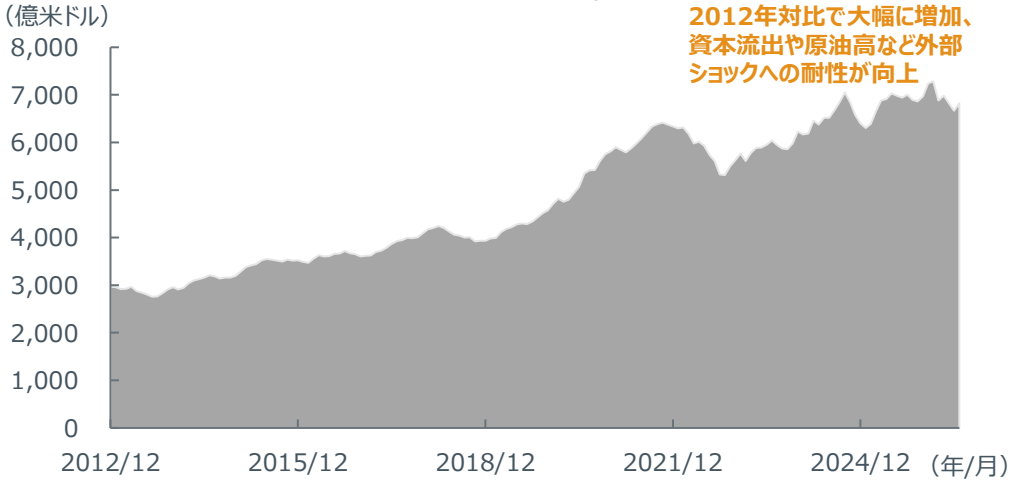
ブレント原油（先物）価格の推移

（2012年12月末～2026年7月末、月次）

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

外貨準備高の推移

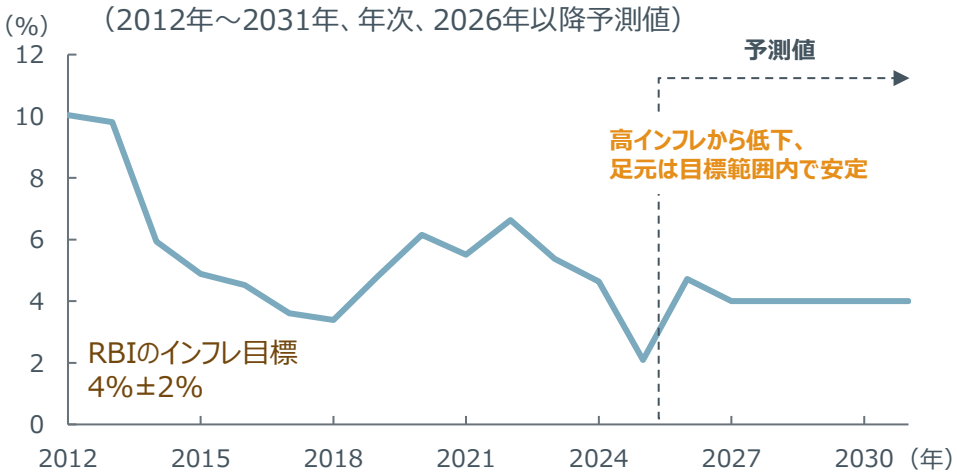
（2012年12月末～2026年7月末、月次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インフレ率*の推移

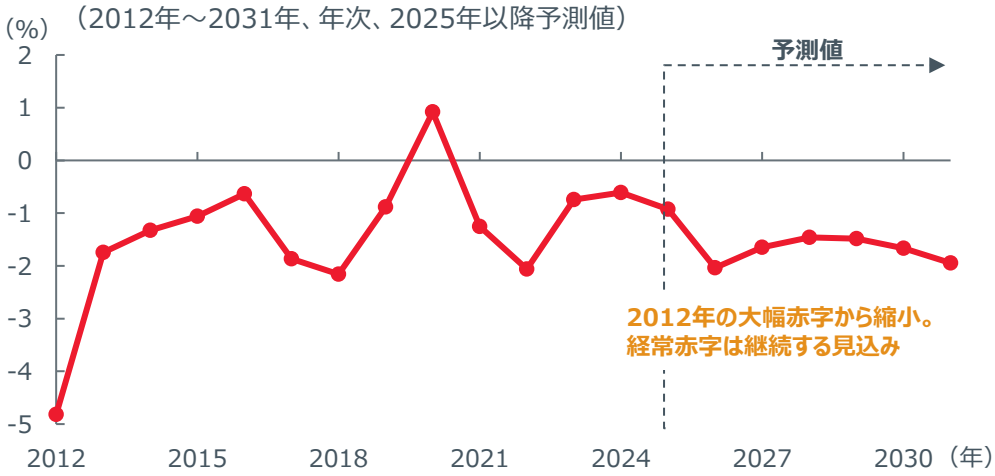
（2012年～2031年、年次、2026年以降予測値）



出所：IMF世界経済見通しデータベース（2026年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。*消費者物価指数（CPI）上昇率（前年比）。

経常収支（対GDP比）の推移

（2012年～2031年、年次、2025年以降予測値）

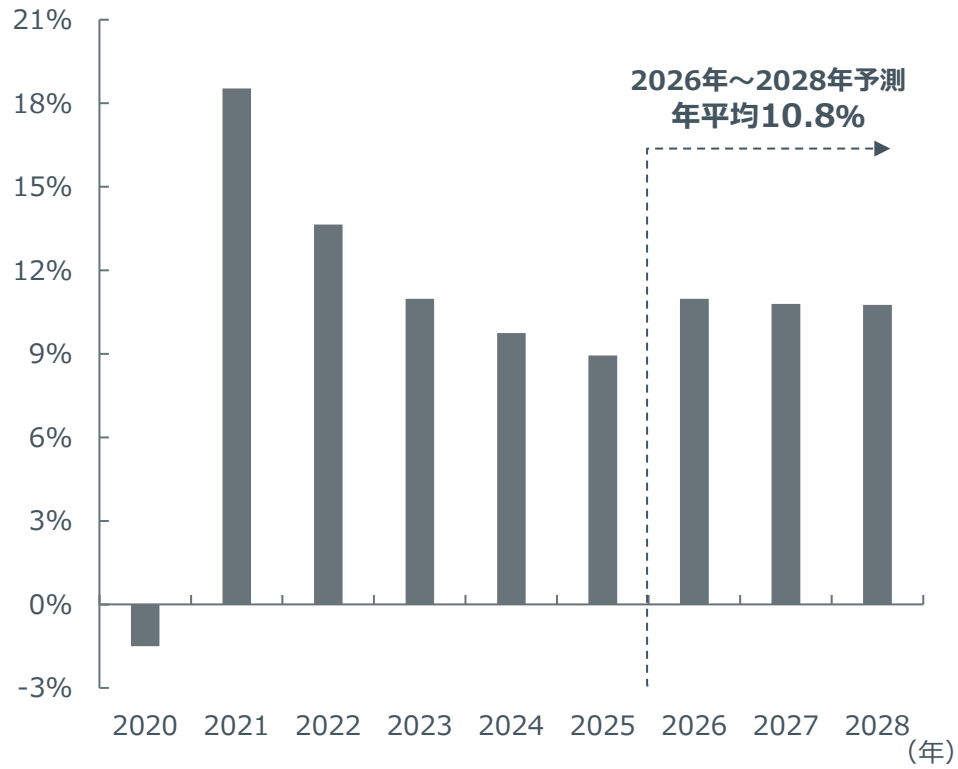


出所：IMF世界経済見通しデータベース（2026年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

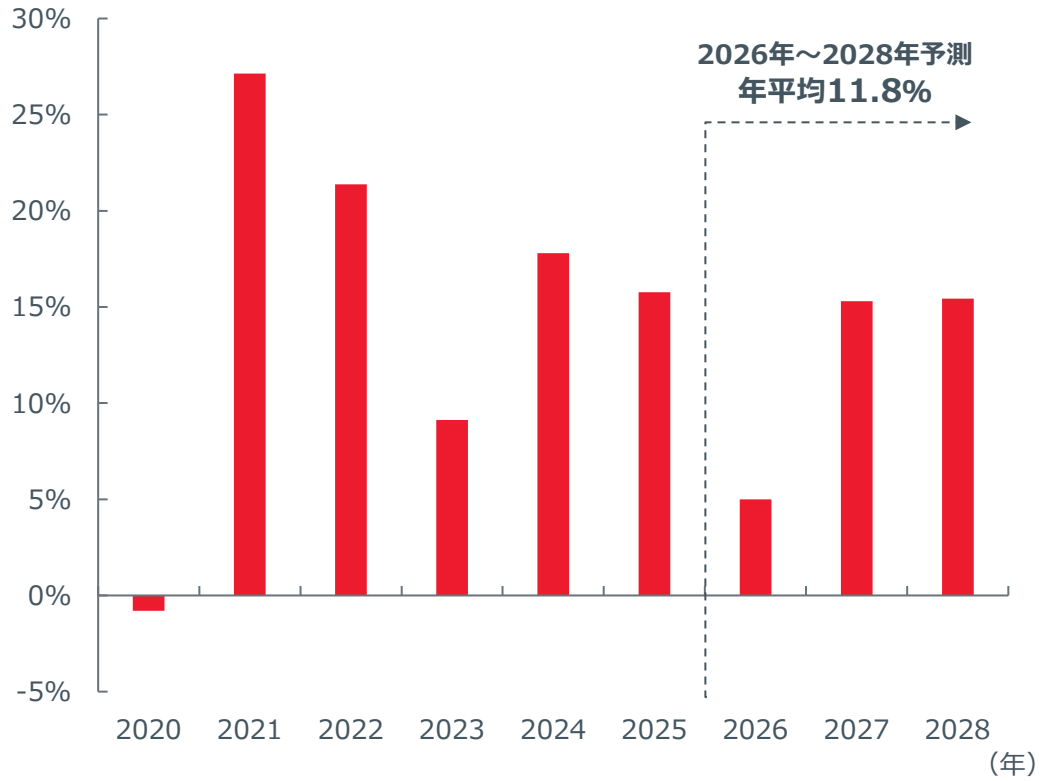
名目GDP成長率および利益の伸びは回復が予想される

インドの名目GDP成長率（前年比）
（2020年～2028年）



出所：IMF世界経済見通しデータベース（2026年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。2026年以降は予測値。

インド株式の1株当たり利益成長率（前年比）
（2020年～2028年）

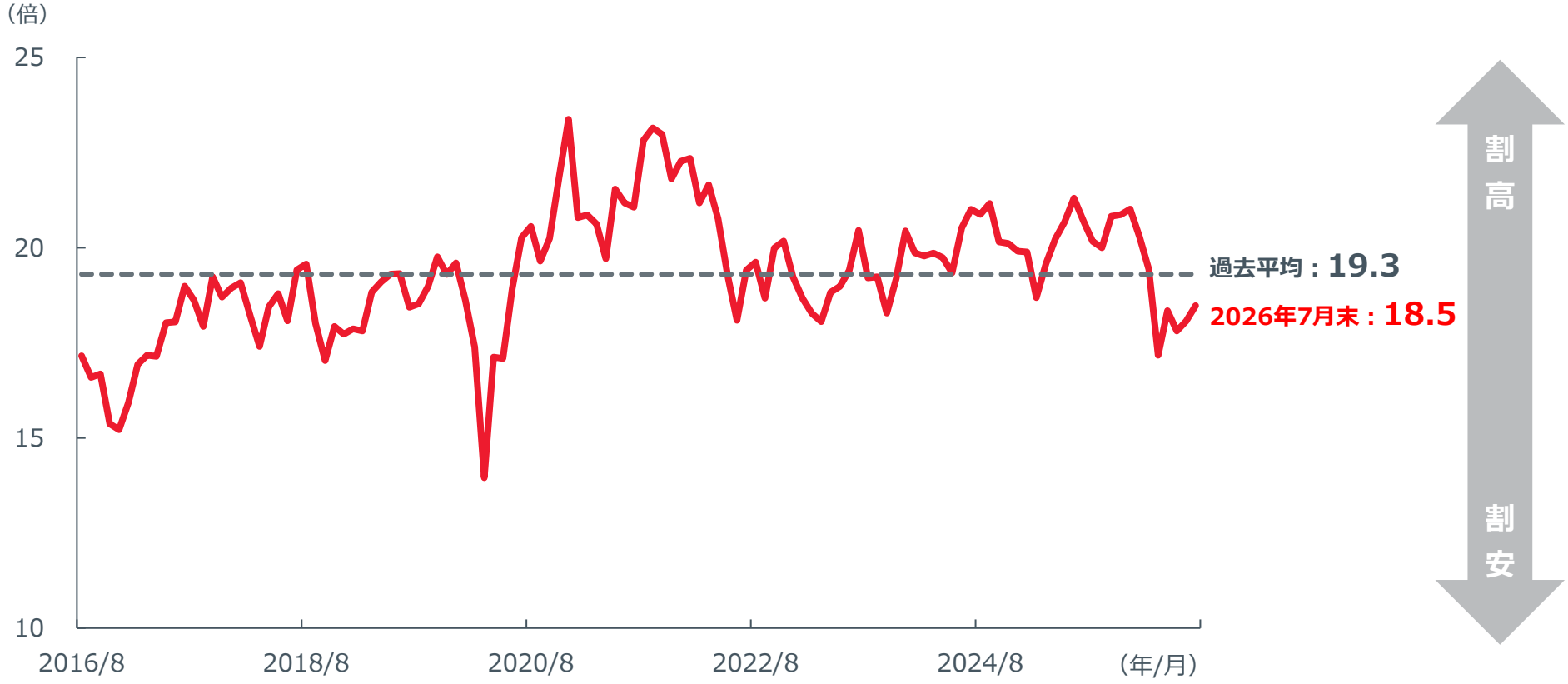


出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※インド株式：MSCIインド指数。2026年以降の1株当たり利益（EPS）は2026年8月2日時点のBloombergコンセンサス予想。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド株式は過去平均（10年）と比較すると割安な水準

インド株式のバリュエーション（予想株価収益率（予想PER））の推移
（2016年8月末～2026年7月末、月次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※インド株式：SENSEX指数。予想PERは1年先の企業利益予想に基づく株価収益率。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インドの消費関連株およびインフラ関連株は主要指数と相関が低い

主要株価指数とインド株、インド・消費関連株、インド・インフラ関連株の相関係数
（2016年7月末～2026年7月末、月次、円換算ベース）

<0.6

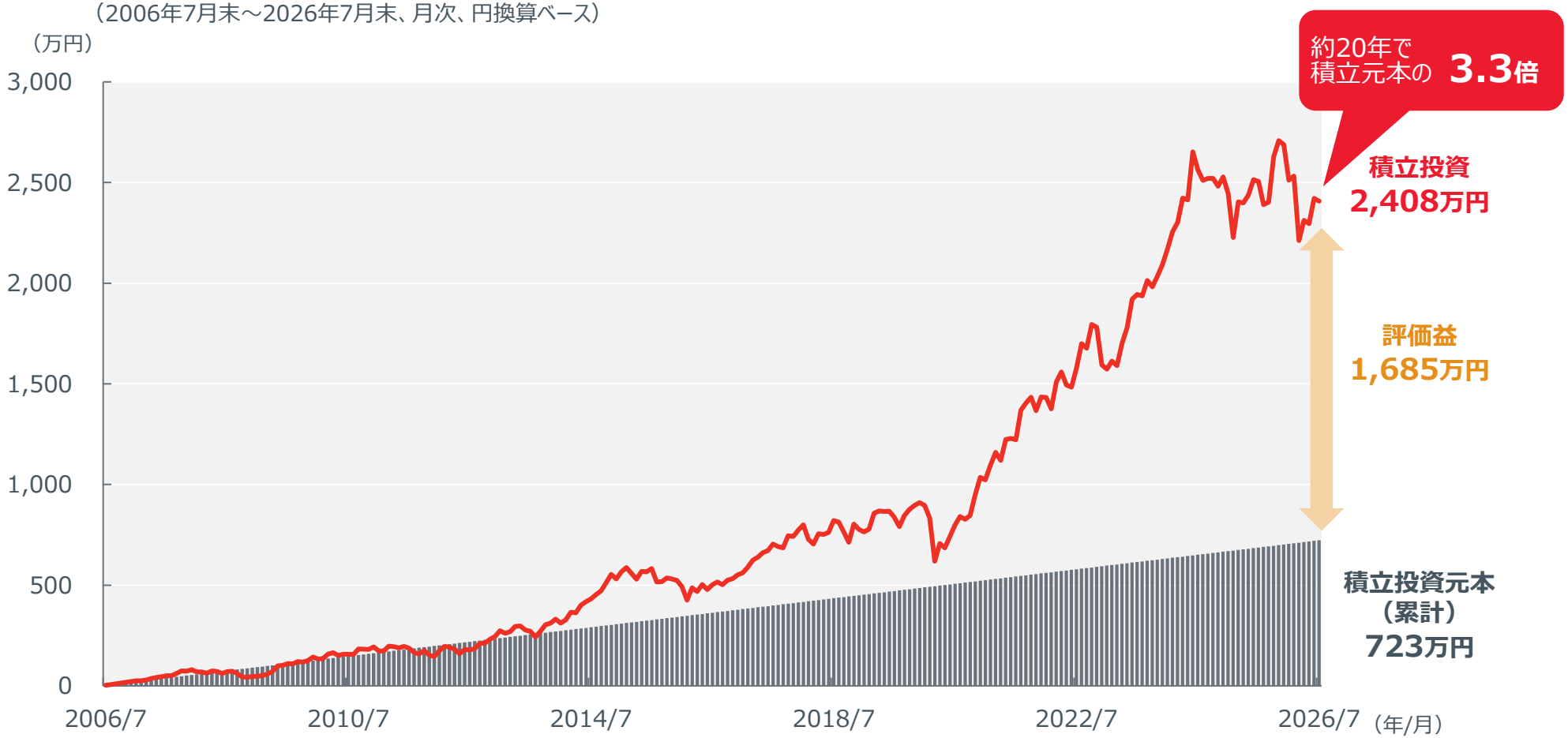
	世界株	米国株	米国IT株	日本株	新興国株
インド株	0.63	0.58	0.46	0.52	0.61
インド・消費関連株	0.43	0.40	0.34	0.43	0.42
インド・インフラ関連株	0.46	0.40	0.33	0.47	0.47
世界株	1.00	0.98	0.86	0.79	0.79
米国株	0.98	1.00	0.89	0.73	0.69
米国IT株	0.86	0.89	1.00	0.71	0.63
日本株	0.79	0.73	0.71	1.00	0.74
新興国株	0.79	0.69	0.63	0.74	1.00

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※インド株：SENSEX指数、インド・消費関連株：BSE日用消費財セクター指数、インド・インフラ関連株：BSEインフラセクター指数、世界株：MSCIオール・カントリー・ワールド指数、米国株：S&P500種指数、米国IT株：S&P500情報技術セクター指数、日本株：日経平均株価、新興国株：MSCIエマージング・マーケッツ指数。全てトータル・リターン（グロス）。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

積み立てを活用したインド株式への投資

インド株式に毎月3万円ずつ積立投資した場合のシミュレーション
（2006年7月末～2026年7月末、月次、円換算ベース）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
インド株：SENSEX指数、トータル・リターン（グロス）。
※毎月末に当該指数を3万円ずつ追加購入したと仮定（購入時の手数料、税金等は控除していません）。
※当シミュレーションは、一定の前提のもとで計算したシミュレーションであり、実際のパフォーマンスとは異なります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。指数に直接投資することはできません。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

2000年以降21ヵ年は最大10%超下落も21ヵ年は年間プラス

インド株の2000年以降の年間最大下落率と年間騰落率
（2000年～2025年）

年	年間最大下落率	年間騰落率	
2000	-39.4%	-20.6%	
2001	-41.4%	-17.9%	
2002	-23.7%	3.5%	
2003	-13.7%	72.9%	
2004	-27.3%	13.1%	
2005	-12.7%	42.3%	
2006	-29.2%	46.7%	
2007	-15.3%	47.1%	
2008	-59.5%	-52.4%	
2009	-21.0%	81.0%	
2010	-10.8%	17.4%	
2011	-26.2%	-24.6%	
2012	-13.5%	25.7%	
2013	-11.8%	9.0%	
2014	-6.9%	29.9%	✓
2015	-16.1%	-5.0%	
2016	-12.3%	1.9%	
2017	-4.3%	27.9%	✓
2018	-14.3%	5.9%	
2019	-10.4%	14.4%	
2020	-38.1%	15.8%	
2021	-9.6%	22.0%	✓
2022	-16.2%	4.4%	
2023	-6.9%	18.7%	✓
2024	-10.1%	8.2%	
2025	-8.7%	9.1%	✓

過去26年間の平均	年間最大下落率（単純平均）	年平均上昇率（CAGR）
	-19.2%	**11.5%**

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※インド株：SENSEX指数、現地通貨ベース、プライス・リターン。
※青ハイライトは年間騰落率がプラス、赤ハイライトは年間騰落率がマイナス、✓は年間最大下落率が-10%を下回った年。

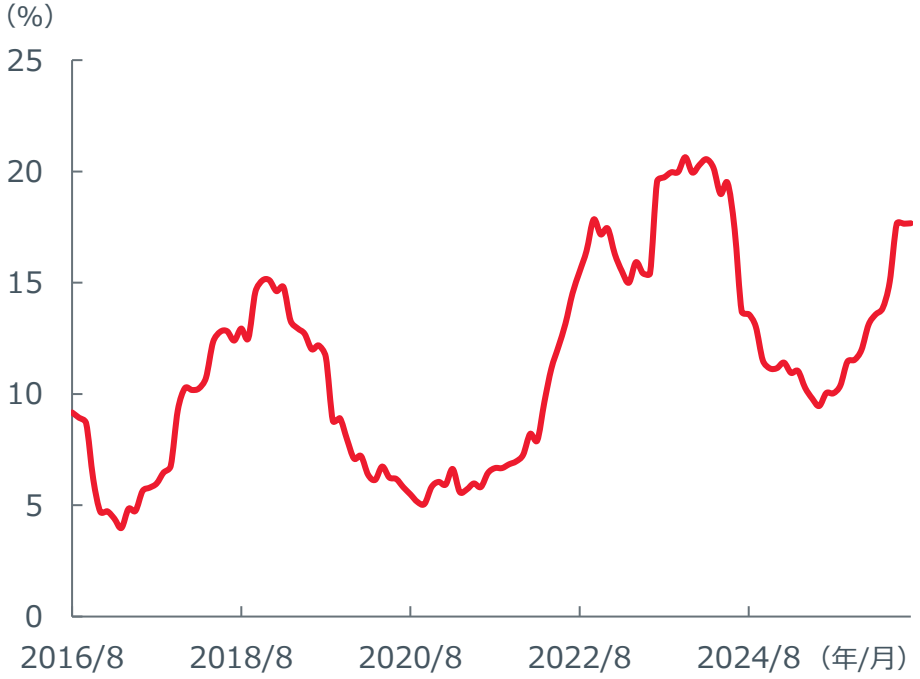
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

旺盛な資金需要が銀行セクターの成長を支える

■ インドでは企業向け・個人向け融資が堅調に推移しており、銀行貸出金残高の伸び率は高水準を維持しています。企業の設備投資需要や個人消費を背景とした資金需要の拡大は、銀行セクターの収益成長を支える要因となっています。また、銀行セクターは市場全体を上回る利益成長が見込まれている一方、バリュエーション（予想PER）は長期平均を下回る水準にあり、相対的に割安感がみられます。

インドの銀行貸出金残高の伸び率（前年同月比）の推移

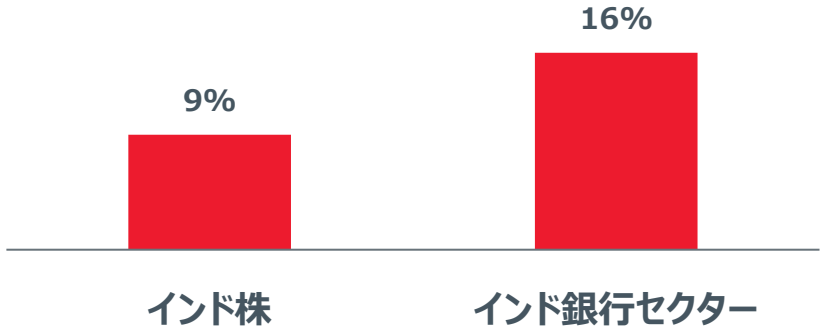
（2016年8月～2026年7月、月次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インド株と銀行セクターの一株当たり利益（EPS）成長率比較

（2026年～2028年、年率、予想）



インド株と銀行セクターの予想PER

（2016年8月末～2026年7月末）

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※インド株：SENSEX指数、インド銀行セクター：S&P BSE銀行株指数。
EPS成長率比較は2026年8月2日時点のBloombergコンセンサス予想。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

【まとめ】 足元の主なポジティブ要因とネガティブ要因

ポジティブ要因

✓AI関連株からの資金シフト
✓外国投資家の買い越し転換と国内投資家の買い越し継続
✓堅調な企業業績とインド経済の底堅さ
✓国内銀行システムの余剰流動性改善と債券市場への資金流入

ネガティブ要因

✓中東情勢を巡る不透明感
✓原油価格の上昇による国際収支への懸念
✓米国債利回りの上昇に伴う金利上昇圧力
✓食品・燃料価格の上昇を背景としたインフレ率の加速

出所：ICICIAMの情報に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。2026年7月末時点。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※MSCI 指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
※JPモルガン・エマージング・マーケット・カレンシー・インデックスはJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。